

茨城県守谷市（平成26年7月14日作成）

- 市の中心拠点である守谷駅周辺を「集約拠点地区」として位置付け、同地区での低炭素まちづくりの実践を、公共交通を軸として他の拠点や市全体に波及していくことで、守谷市全体が低炭素かつ持続可能な都市として成熟していくことを目指す計画。
- 松並土地区画整理事業をモデル地区として、公共空間の緑化を推進し、自然と調和した先導的なまちづくりの整備を行う。

■低炭素まちづくり計画の目標

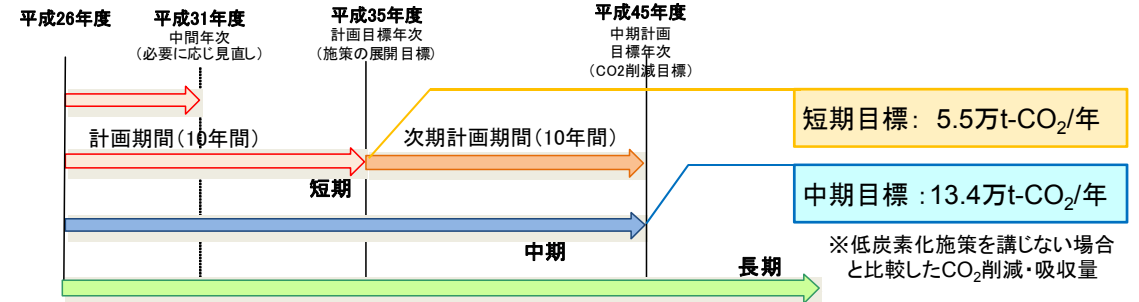
都市の集約化と、環境にやさしい移動手段による
持続可能なまちづくり

～誰もが住んでよかつたと思える低炭素まちづくりの実現のために～

■計画の目標を達成するための導入メニュー

導入メニューの方向性	導入メニュー
◆基本方針1：集約型都市構造への転換	
①都市機能の集約化	1) 集約拠点地区での必要な都市機能や複合施設の誘導 2) 集約拠点地区での集約駐車施設の整備 3) 集約拠点地区への居住の誘導
②子育て世代や高齢者等への配慮	4) 子育て世代や高齢者等が必要とするサービスの提供 5) 多世帯・多世代居住への誘導
◆基本方針2：環境にやさしい移動手段の利用促進	
③公共交通の利用促進	6) 公共交通の柔軟な運行 7) バス案内システムの構築
④自動車交通需要の調整	8) 市内事業者との自動車交通調整 9) カーシェアリング等の導入 10) 環境に配慮した自動車利用の促進
⑤道路環境の改善	11) 道路の走行環境の改善 12) 都市計画道路の整備促進 13) 自転車利用環境の改善
◆基本方針3：エネルギー消費量の削減	
⑥エネルギー負荷の軽減	14) 建物性能の向上 15) エネルギーマネジメントシステムの導入促進 16) LED照明の導入
⑦未利用・再生可能エネルギーの活用	17) 太陽光発電、廃熱利用等の活用促進
◆基本方針4：緑豊かなまちづくりの推進	
⑧緑の管理・育成	18) 市民との協働による維持管理 19) 地区計画、ガイドライン等による緑の担保
⑨緑化の推進	20) 道路等の公共空間での緑化の推進 21) 屋上、壁面、建物周りの緑化の推進

■計画の期間及び目標（温室効果ガス削減・吸収目標値）



■計画の区域（市街化区域全域 約985ha）

